

2025年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年2月28日

上場会社名 東和フードサービス株式会社
コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸野 誠人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 研二
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5843-7666

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の業績(2024年5月1日～2025年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	9,584	3.7	791	10.9	810	8.5	484	6.5
2024年4月期第3四半期	9,244	16.1	713	87.8	746	82.1	454	86.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	60.02	
2024年4月期第3四半期	56.36	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	8,715	6,935	79.6
2024年4月期	8,720	6,616	75.9

(参考)自己資本 2025年4月期第3四半期 6,935百万円 2024年4月期 6,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期		9.00		10.00	19.00
2025年4月期		10.00			
2025年4月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年4月期の業績予想(2024年5月1日～2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	3.4	950	4.7	1,000	4.7	650	7.7	80.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年4月期3Q	8,186,400 株	2024年4月期	8,186,400 株
期末自己株式数	2025年4月期3Q	116,851 株	2024年4月期	116,851 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年4月期3Q	8,069,549 株	2024年4月期3Q	8,069,568 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、売上高95億84百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は7億91百万円（前年同期比10.9%増）、経常利益は8億10百万円（前年同期比8.5%増）、四半期純利益につきましては4億84百万円（前年同期比6.5%増）となりました。特に12月・1月は平年に比べて気温が安定していたことや、降雨・降雪が極端に少なかったことが外出機会に繋がり、冬フェア商品やストロベリーフェアの販売機会と合致したことで売上に好影響となるなど業績は堅調に推移しております。

地域・産学連携企画として、松戸チーズエッグガーデンにおいては、聖徳大学・聖徳大学短期大学部と2回目のコラボレーションが実現しました。栄養素を強化したパスタをテーマに学生がメニューを考案し、食産業が抱える限られた資源の有効活用や地域社会との共生等、社会価値の創出に向けたメニューを販売いたしました。

渋谷センター商店街のまち歩き企画「まちパスポート」では、インバウンド観光客をターゲットにお好み焼き・もんじゃ焼き「こてがえし」と大正ロマンを体験できる「椿屋カフェ」を紹介し、ブランド認知向上と地域活性化に繋がる活動を実施、神奈川県海老名市にある商業施設ビナウォークでは「ソムリエと楽しむ昼下がりの試飲会」としてイタリアンダイニングDONAの店舗責任者であるソムリエにより、ワインの楽しみ方やペアリングなどを解説、地域交流の活動を行いました。

メディアでのPR活動では、イタリアンダイニングDONAの秋フェアがフジテレビ「めざましテレビ」にて紹介され、また椿屋珈琲はテレビ東京「円卓コンフィデンシャル」で2週にわたり取り上げられ、椿屋珈琲の戦略等について、あらためて知っていただく機会となりました。

設備投資につきましては、セントラルキッチンを中心に実施し、戸塚カミサリーでは、環境温度の安定や衛生面の向上を図るため空調設備の入替と増設を実施、深川コンプレクショナリーでは冷凍設備の冷却装置を交換し、安定的な製造体制と品質維持に努めております。

椿屋珈琲・ダッキーダックでは、お客様の利便性向上と営業効率化を推進するため、ケーキ専用予約サイトを構築しました。クリスマスケーキをはじめ、ハレの日を飾るアニバーサリーケーキのご予約が可能となりました。お誕生日、こどもの日などのイベントにあわせ、WEBでご予約、店舗で受け取るだけの大変便利な専用サイトをぜひご利用ください。（ケーキ予約専用サイト <https://www.tfscake.shop>）

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて1億4百万円減少し、47億88百万円となりました。これは、現金及び預金が1億19百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて98百万円増加し、39億27百万円となりました。これは、建物が1億27百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて5百万円減少し、87億15百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて3億10百万円減少し、10億65百万円となりました。これは、未払法人税等が1億42百万円減少、未払賞与が1億6百万円減少、未払金が68百万円減少、未払消費税等が50百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて12百万円減少し、7億15百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて3億23百万円減少し、17億80百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて3億18百万円増加し、69億35百万円となりました。これは、四半期純利益の計上4億84百万円があったことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月29日に公表いたしました2025年4月期の業績予想に変更はございません。業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,017,113	3,898,112
売掛金	212,630	222,186
SC預け金	286,812	313,043
商品及び製品	42,796	47,760
原材料及び貯蔵品	145,229	139,726
前払費用	112,213	127,927
その他	76,159	40,160
貸倒引当金	△546	△525
流動資産合計	4,892,409	4,788,391
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	678,348	805,639
構築物(純額)	—	108
機械及び装置(純額)	81,189	72,756
工具、器具及び備品(純額)	228,569	232,197
土地	530,000	530,000
リース資産(純額)	16,329	12,837
建設仮勘定	1,070	—
有形固定資産合計	1,535,505	1,653,539
無形固定資産	43,246	41,200
投資その他の資産		
投資有価証券	67,639	61,666
出資金	320	330
従業員に対する長期貸付金	555	330
長期前払費用	13,057	16,640
繰延税金資産	321,046	323,411
差入保証金	404,508	404,508
敷金	1,442,675	1,425,761
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	2,249,801	2,232,648
固定資産合計	3,828,553	3,927,389
資産合計	8,720,963	8,715,781

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	270,927	254,507
リース債務	4,934	4,093
未払金	484,283	416,031
未払賞与	106,101	—
未払費用	76,416	84,617
未払法人税等	264,727	122,328
未払消費税等	150,034	99,553
契約負債	2,555	5,798
預り金	10,256	13,424
前受収益	2,964	3,087
資産除去債務	672	3,065
賞与引当金	—	54,000
ポイント引当金	1,940	3,032
その他	235	1,585
流動負債合計	1,376,050	1,065,123
固定負債		
リース債務	13,249	10,249
退職給付引当金	401,504	390,176
資産除去債務	292,513	294,113
その他	20,984	20,984
固定負債合計	728,252	715,524
負債合計	2,104,302	1,780,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,306,350
利益剰余金	5,331,706	5,654,650
自己株式	△100,735	△100,735
株主資本合計	6,587,320	6,910,265
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,340	24,868
評価・換算差額等合計	29,340	24,868
純資産合計	6,616,660	6,935,133
負債純資産合計	8,720,963	8,715,781

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	9,244,301	9,584,054
売上原価	2,522,779	2,596,459
売上総利益	6,721,521	6,987,595
販売費及び一般管理費	6,007,596	6,196,201
営業利益	713,924	791,393
営業外収益		
受取利息	200	1,009
受取配当金	893	1,678
受取家賃	24,087	25,092
協賛金収入	160	580
助成金等収入	6,412	2,153
その他	4,209	4,246
営業外収益合計	35,964	34,760
営業外費用		
支払利息	952	—
不動産賃貸原価	1,492	1,539
助成金返還損	—	14,114
その他	458	140
営業外費用合計	2,903	15,793
経常利益	746,985	810,360
特別損失		
固定資産除却損	5,409	4,850
減損損失	9,673	21,424
その他	—	3,680
特別損失合計	15,082	29,955
税引前四半期純利益	731,902	780,405
法人税等	277,096	296,069
四半期純利益	454,805	484,335

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産等に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	254,784千円	244,194千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年5月1日 至 2024年1月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年5月1日 至 2025年1月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。